

ただとも通信 No.57

<https://note.com/tadatomo11> 2023.3.2 発行

3月1日の総務部門会議で 稲葉延雄 NHK 新会長に質問



NHKの会長が1月下旬に前田会長から稲葉延雄会長に代わっての初めてのヒアリングです。私はこの間の改革を踏まえ、前田前会長が進めてきた改革について稲葉新会長としてどのように考えるのか3点にわたり質問しました。

<現状考えられる改革の問題点について>

「稲葉会長は前会長の改革を継承・発展させる。若干のほころびが見られるので、丁寧に手当をしながらベストの改革をしていきたい」との考えに対し、「現状考えられる改革の問題点をどのように考えているのか、そして今後どのように進めていくのか」について質問。稲葉会長からは、「問題点をしっかり把握し人材を活用していく、人事制度をより良いものにしていく」との答弁でした。

<訪問によらない営業で受信料の徴収とその影響>

「改革の中で訪問によらない営業で受信料の徴収なども郵便などで行うということになっているが、影響はどのように出ているのか、今後ともこうした訪問営業を行わないのか」ということについても質問しました。

稲葉会長からは、「まだ取り組みが始まったばかりなので、状況を見てみたい」という答弁でした。

<ベースアップ(ベア)を行うべき>

「最近の物価の高騰の中でNHKは2002年からベアを1回も行っていない。1月の消費者物価の上昇率は4.2%になったと政府が発表しています、実感としてはこのようなものではないと思っています。物価上昇に見合う賃金引き上げを行わなければ実質賃金は低下します。連合も5%の賃金引き上げ目標を掲げて春闘をたたかっているわけですから、NHKについても定期昇給だけではなく、久しぶりのベアを行うべきではないか」と稲葉会長に質問しましたが、「NHKは公的な立場もあるので、今後慎重に検討していきたい」というような答弁でした。

NHKの本体の職員また関連会社の職員をはじめ、NHK関連の職員の皆さんの生活と権利をしっかりと守りながら、今後ともNHKが良質な番組を国民に提供できるように、私もしっかり意見反映をしていきたいと考えています。